

# 日本発条株式会社 横浜事業所の取り組み (金沢区:6年連続)

2017/6/28

日本発条株式会社  
技術本部 安全環境部

- Y530(ワイゴミゼロ)委員会の制定  
廃棄物の抑制と減量化・リサイクルを推進する体制として、Y530委員会を組織しています。具体的には、紙使用量削減や分別ステーションでの分別の徹底、リサイクルセンターでの廃棄物の計量管理、更には階層別環境教育を行うなど、積極的に取り組んでいます。
- 分別と廃棄物削減の徹底  
個人のごみ箱を廃止し、休憩所などの共有スペースの一部に、分別ステーション(実物と品目を表示した分別ボックス)を設置したり、外国人従業員に配慮した日英併記の廃棄物分別表を配布するなど、分別を徹底しています。また、圧縮機による軟質プラスチックの減容化や、食堂の白米を大中小に設定して食べ残しを減らすなど、輸送効率の向上や廃棄物の削減にも取り組んでいます。
- 再資源化と再利用の推進  
生ごみ処理機を活用した堆肥化や、事業所内の剪定枝をチップ化して合板にリサイクルするなど、再資源化を進めています。また不要な本は社内のリサイクル文庫で再利用しており、その際の寄付金で車椅子を購入して横浜市立大学付属病院に寄贈しています。
- 社会貢献活動  
海外や近隣より施設見学や、職業体験の受入れを行っています。また定期的に事業所周辺や、「ニッパツ三ツ沢競技場」のある三ツ沢公園の清掃活動を行っています。

分別ステーション



圧縮機と圧縮後の軟質プラスチック



廃棄物の計量管理



食堂の様子



リサイクル文庫



生ごみ処理機



